

こどもも おとなも 元気いっぱい 東町小！



あずっ子

東町小学校学校だより

6月 3日発行

校長 野口 正孝

在籍児童数459名

(6/3現在)

保護者・地域・学校の連携を通して

1学期が始まって、あっという間に折り返しとなりました。先月は遠足や宿泊学習などの行事がありました。私はピンチヒッターで宿泊学習に参加しましたが、5年生の成長した姿に感心しました。自分たちで時間を見て行動する姿、係の仕事に一生懸命取り組む姿。キャンプファイヤーではゲームやダンスに「みんなで楽しく」取り組む姿。子どもたちの中に少しずつ仲間意識が芽生え、高学年らしくなった5年生を大変頼もしく思いました。

さて、5月の学校公開では学校応援団の説明会を行いました。学校応援団とは埼玉県が取り入れている保護者や地域が学校の教育活動を支援していく取り組みです。平成時代には様々なボランティア活動が本校でも行われていましたが、新型コロナウイルスの蔓延のために活動が休止状態になりました。しかし、新型コロナウイルス感染症が昨年度5類に移行したため、本年度から本格的に再開することとしました。説明会では学校応援団が行うボランティア活動について説明しました。学習ボランティアや図書ボランティア、環境ボランティア、登下校ボランティアとベルマークボランティア。こうしたボランティアに取り組んでいただくことで、子どもたちの教育活動が充実いたします。この後、ボランティアの募集があると思いますので、たくさんの皆様のご参加をお願いいたします。

学校はこうしたボランティアだけでなく、PTA活動も子どもたちの教育を支える活動をしてくださっています。本部、学年委員、教養部、広報部、校外指導部、それぞれが学校を支えてくださる活動をしています。詳しくはPTA総会の資料をご覧ください。一例をあげると、校外指導部では児童の登下校に関する活動をしていただいています。もし校外指導部の活動がなければ、学校の登下校は成り立ちません。登校班の編制や登校指導。本年度は登校指導だけではなく、下校指導にも取り組んでくださることとなりました。教員は、朝は児童の受け入れがあり、放課後には会議や教材研究、保護者への連絡等で忙しく、校外で児童をする時間が取れません。校外指導部の皆さんのおかげで、子どもたちは元気に登下校できるわけです。その他の専門部でも同様、学校にとっては欠かせない存在です。

学校は、教職員だけで運営できるものではありません。それは、新型コロナウイルスの蔓延期間に、私は痛いほど感じました。これからは学校運営協議会やPTA、学校応援団の皆様のお力をお借りし、保護者・地域・学校が一体となって子どもの教育を担っていけるとよいと思っています。これからも学校へのご支援、ご協力をお願いいたします。